

## 諸外国との比較 その3 ハワイ, シドニー, 日本; 治療に関する研修・研究体制 分担研究者 原井宏明 国立療養所菊池病院 臨床研究部

**研究主旨** 米国内でも医療機関によって実際に提供される内容が異なる。今年度は、1)臨床研究体制及び治療者に対する訓練・教育、2)薬物乱用政策、3)医療資源供給制度、について調査した。

### A. はじめに

海外との比較にあたり、1998 年度は治療方法に関する文献レビュー、99 年度は北部九州とハワイの治療施設における患者の比較研究を行った。物質使用性障害に対する治療法についてのエビデンスが蓄積されつつあること、患者一人一人についてみれば、日米の共通点が多いことが分かった。一方、国全体の医療制度や公衆衛生指標を見ると、日米の差は大きい。大麻の使用者の数や薬物事犯による受刑者の数などは日米で一桁以上違う。

米国においては治療施設毎、個人ごとに受けられる治療内容の差が大きい。今年度はこうした差を明らかにするために、昨年調査した Hina Mauka 以外のオアフ島における物質使用性障害関連の治療施設を網羅的に調査した。米国の刑務所人口は、人口 10 万人当たり 760 人、日本の約 20 倍でロシアに並んで世界のトップに立つ。違法性薬物の依存者に対するケアの点で、矯正施設も大きな役割を果たしている。今回は、オアフ島の矯正施設も調査対象に加えた。

患者が実際に受ける医療を規定する要因のうち、医療経済は大きな部分を占める。米国では医療経済のあり方が過去 20 年間で大きく変化し、それによって医療が受けた影響が大きい。アメリカの医療保険制度はマネージドケアや HMO (Health Maintenance Organization, 営利企業による健康維持機構・医療保険会社) によって特徴付けられる。ハワイにおいて最も大きなシェアを獲得している HMO である HMSA について調査を行なった。

医療保険制度に関して日本により近い国として豪州も調査対象に加えた。

### B. 調査対象

#### 1. 調査対象

ハワイでは次の施設の視察や活動への参加を行い、資料収集とディスカッションを行なった。

##### 1) 独立した薬物依存治療専門施設

- ・ The Sand Island Treatment Center サンドアイランド
- ・ Hina Mauka Kaneohe facility ヒナマウカ
- ・ Salvation Army Addiction Treatment Service 救世軍嗜癖治療サービス

これらは本来、薬物・アルコール依存症者が医療とは独立して始めた治療団体である。この中で Sand Island はハワイ州でもっとも古い治療施設であり、1960 年に創立されている。治療者と患者が一体化した治療共同体がそもそもの出発点であった。

元来は医療や行政から独立した組織であり、医師や看護婦などはおらず、精神科治療薬を含むあらゆる薬物を拒む 12 ステップに従った治療を行ってきた。現在でもマネージドケアなどの米国医療経済の変化に影響されずに、伝統的な治療形態を維持している。

この 10 数年の間に、医療経済上の理由から薬物依存自体の治療を医療機関が行うことが困難になった。ハワイでは 1980 年頃にキャッスル病院が入院・外来による薬物・アルコールリハビリテーションプログラムを開始し、ハワイにおける外来治療プログラムのパイオニアとなった。しかし、治療費の高騰と医療保険会社の支払い拒否の結果、医療経済的には治療が非現実的なものになり、1990 年に病棟を閉鎖し、1995 年には外来プログラムも閉鎖している。

一方、独立した薬物依存治療施設が医療保険の適用を受けられるようになった。薬物依存治療対策が連邦政府の政策になり、治療施設は行政の資金援助を受けられるようになった。それは同時に行政や医療保険会社の

コントロールを受けることでもある。パートタイムで医師や看護婦を雇用し、うつ病や精神分裂病を並存する患者も受け入れ、精神科治療薬の投与を施設内で認めるようになり、次第に日本の病院に近い存在になりつつある。

サンドアイランドは2年以上の長期入所治療を行なう。2年間プログラムに参加し、3年間施設内の寮に居住しながら、所外で就労することが普通である。AAもあるが、全て所内で行われ、所外のミーティングには加わらない。医療経済的には現在も特異な存在で無保険無一文の患者も受け入れている。医療保険は1ヶ月の入所しか認めないが、施設内で医療費を融通することで長期の入所や支払能力のない患者の治療を実現している。

ヒナマウカ、救世軍では保険会社の制限の範囲内で治療が行われている。1~2ヶ月の入所治療、週3回の外来集中治療、半年程度のフォローアップ外来を行っている。治療期間・外来回数・年間に可能な入所回数は医療保険に制約される。無保険の患者は、州の援助や福祉医療が適用されない限り、治療を受けることができない。

## 2) 医療機関

- ・ハワイ州立精神病院
- ・ハワイ大学医学部附属クィーンズメディカルセンター病院精神科病棟

州立精神病院は日本の措置入院に該当するような患者や触法患者を主な対象に中長期の入院治療を行っている。150床の入院ベッドがある。外来は行わない。最近、医療内容が不良であるという米国連邦政府からの指摘があり、病院改革に取り組んでいるが、医療スタッフの定着率が悪く、なかなか成果を上げられず苦しんでいる。

大学病院は50床の閉鎖精神科病棟をもつ。救急救命室からの入院が殆どで1,2週間以内に退院する。薬物関連の患者の場合は、他の治療施設に紹介される。

## 3) 司法機関

- ・ハワイ州巡回裁判所ドラッグコート
- ・ハレワ矯正施設 Halawa Correctional Facility
- ・ワイアワ矯正施設、キャッシュボックス薬物依存治療施設 Waiawa Correction Facility, Kash Box

## 4) 行政機関・医療保険会社

- ・ハワイ州政府保健省アルコール薬物乱用部
- ・HMSA Blue Cross に所属し、ハワイでもっとも大きなシェアを持っている。

## 5) 臨床研究プロジェクトへの参加

米国 NIDA が資金を出し、UCLA が中心になって行なう米国内多施設共同覚せい剤依存治療研究プロジェクトに加わった。これは覚せい剤依存者に対する Bupropion (ドーパミン動作性抗うつ薬の一種) と Matrix モデル認知行動療法による外来治療プログラムの無作為割付比較臨床試験である。

## C. オーストラリア

シドニーにおいて次の施設を視察した。

### 1) 研究機関

- ・ National Drug and Alcohol Research Center, University of New South Wales

物質使用性障害の治療について米国の研究資金も受けながら、臨床試験を行なっている。政策に関する研究も行なわれている。

### 2) 薬物依存治療専門施設

- ・ The Langton Center

・ The Kerkton Road Center

地域にある治療センターであるが、断薬だけでなく、針交換や HIV・C 型肝炎の感染予防対策・教育も行なっている。独立した治療施設ではなく、州政府に所属する公的機関である。風俗産業従事者に対する教育・ Condom 無料配布も行なわれるなど、ハワイや日本には存在しない施設である。

## D. 結果

### 1) 実際の医療のばらつき

Hina Mauka, Salvation Army は 1 ヶ月の入所治療プログラムが主体である。覚せい剤依存者の場合、これでは短すぎるというのが訪問先施設の治療者のコンセンサスであった。しかし、医療保険を使う限りこれ以上の期間は不可能であった。一方、Sand Island のように独自の 방법으로財源を確保し、最低で 2 年間、主に 5 年間の入所型治療を行なっているところもあった。SAMHSA やアメリカ精神医学会が治療ガイドラインを刊行しているが、実際の治療は医療保険と施設の独自の考えによって決まることがわかった。

### 2) 薬物依存カウンセラーの資格について

米国の HMO の支払いはサービスの内容だけでなく、誰が提供したかを重視する。これが周到的な資格認定制度の理由になっている。薬物依存対策には連邦政府から各州政府にも資金が与えられている。ハワイ州も連邦政府の資金によって 1984 年からカウンセラーのトレーニング、資格認定を行なっている。1996 年からは米国全体の資格認定団体に所属し、資格認定の標準化と基準のかさ上げが行なわれた。

### 3) 米国とオーストラリアの薬物乱用対策

米国は薬物乱用に対して刑罰を強化する方向でこの 20 年間を経過した。オーストラリアは公衆衛生の観点から Harm Reduction を目指した。結果だけ見れば米国の政策は好ましくない。ただし、これは薬物乱用だけでなく福祉・医療保険政策も関連している。

## E. その他の活動

治療における心理社会的介入の重要性がわかった。米国では薬物専門のカウンセラーが大きな役割を果たしている。その相当数は薬物依存から回復した元患者達である。日本でも DARC がその役割を果たしつつあるが、彼らが十分なカウンセラー教育を受けていないことは DARC の課題の一つである。この解決のために、Hina Mauka のカウンセラー、ルビー金城氏を招聘し、DARC スタッフ対象にトレーニングセミナーを開催した。